

新型プレスブレーキ導入で競争力強化、 板金加工の技能伝承

事業内容 鉄道車両の板金部品を加工、 空調機据付工事や修理も業務

鉄道車両の板金部品を加工・販売している。車両の扉、窓枠、取っ手、手すりなど、車内のほとんどの板金部品が対象で、修理用の取り替え部品が中心。多品種少量で、年間4,000種類にも上る。阪神車両メンテナンス(株)をはじめ、鉄道会社やその部品保守会社を主な顧客としている。松村健一社長が平成15年、前身のオーナー会社から事業を受け継ぎ、新会社の「マツムラ電器」として創業した。

阪神車両メンテナンス(株)との取引が一番多く、同社を経由して受注するほかの鉄道会社のもも含めると、阪神車両メンテナンス(株)がほぼ100%の納入先。車両整備は安全性からも不可欠な安定した仕事で、納入先からの信頼は強い。松村社長は「仕事量は月間で2〜3両分。車両の改造工事時に急に必要部品もあるため、まとまった休みを取れることもないが、おかげさまで数年先まで予定を聞いている」と、胸を張る。このほか、民生用・業務用空調機の据付工事も手がけ、売上高の残り約10%を占めている。

補助事業 曲げ加工のプレスブレーキを オーダーメイドで導入

「平成25年度中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」の「ものづくり補助金」では、オーダーメイドで最新の曲げ加工機械であるプレスブレーキを導入した。松村社長の長女の松村由紀専務が加工機械メーカーの担当者から同事業を紹介され、応募したのがきっかけ。導入したプレスブレーキは高さが3m以上もあり、同機械としては最大クラス。大型サイズが多い鉄道車両の板金部品も、ほとんど加工できる。コンピューター数値制御(CNC)付きで、段取りが容易なうえ、安全性も高い。

松村専務は「これまでは父の熟練技能を頼りに、仕事を続けられた。しかし、世代交代が近づいているので、誰でも操作できる自動機械の必要性を切実に感じていた」と、導入した理由を説明する。「マツムラ電器」は板金加工機械を中心に約30台の加工機械を保有しているが、新型を導入したのは、今回のプレスブレーキが初めてとなった。



導入した新鋭のプレスブレーキ



主力のCNCパンチプレス機



空調機の据付も得意

具体的成果 リードタイムが 3〜4時間から1時間に短縮

松村専務は新型機の導入に備え、展示会を見学し必要な機械を以前からイメージしていた。「導入したプレスブレーキは、データを入力すればほぼ自動で加工してくれる。熟練に頼らなくても加工できるようになった」と、高い性能に驚く。例えば、加工に必要な金型を機械に記憶させられるので、たくさんある金型の中から正しいものを機械が指示してくれる。鉄板の厚みが正しいかどうか、機械が判別できる。危険な作業では、安全に止まる。同じ仕様の部品の加工ならば、次回からは完全に自動化できる。これまでは経験や勘が必要だったこうした段取り作業を、大幅に不要とした。機械の裏に回るような難しい作業もなくなり、加工時間も含めると、従来は3〜4時間かかっていたリードタイムを1時間に短縮した。不良率が低く、生産性も向上した。加工精度も高まり、ほとんど誤差なく製造できるようにもなった。

加工コストのメリットについては分析中だが、「同一部品ならば従来の10分の1の時間で加工できる。油圧装置も必要な時だけ動く節電技術のため、加工に要する電気代がかなり低減した」と松村専務は語る。

今後の戦略 信頼の実績から、 ビジネスを広げる好機に

松村専務は「新しい機械を操作するのは、とても楽しい。せっかく導入したのだから、もっと仕事を増やしたい」と意気込む。取引先からも「ほかの鉄道会社を紹介するので、取引先を増やしてはどうか」と、勧められている。これまでも短納期、低コストで部品を納めてきた信頼の実績から、ビジネスを広げる好機を迎えている。

例えば「マツムラ電器」ならば、通常は溶接しないと製造できない部品でも、深曲げ加工の独自技術で、溶接不要の一体成形をできる。新しいプレスブレーキを入れたため加工能力には余裕もできた。ただ、保有していないレーザー加工機などについては一部、加工を外注に出している。完全な一貫生産体制を築ければ納期やコスト競争力が一段と高まり、顧客開拓しやすくなる。「欲をいえば、レーザー加工機やタレットパンチプレス加工機も導入したい。当面は無理でも、今後も同様な補助制度のチャンスがあれば、考えてみたい」と、前向きに語る。一方、空調機の据付工事も手堅いサービスでダイキン工業(株)の信頼をつかみ、板金加工部品に次ぐ事業の柱と位置づけて継続する。

マツムラ電器 株式会社

代表取締役 松村 健一

〒586-0037 大阪府河内長野市上原町311

TEL. 0721-54-3950

FAX. 0721-54-3950

資本金/3,000千円

従業員/6名

短納期

小ロット

OK

オンリー

ワン技術

量産

OK

試作

OK

連携力

鉄道車両の板金加工部品を 機械加工から組立まで一貫生産

代表取締役 松村 健一

多品種少量の鉄道車両用板金加工部品を機械加工から溶接、組立まで一貫して手がけています。鉄道事業に必要な安全性から、短納期の即応体制も築いています。



取材を終えて

次世代経営者が リーダーシップを発揮

「マツムラ電器」では社長が父親、専務が長女、工場長が長男、空調部部長が次男と、家族が仲良く一致結束して「家業」を守り続けている。中でも松村専務は子どものころから工場で遊び、社会人になると同時に入社し、父親の右腕として会社を支えてきた。今回の補助事業でも松村専務は徹夜で提出資料を作成し、採択を勝ち取った。近い将来の世代交代をしっかりと見据え、次世代経営者として強いリーダーシップを発揮している。